

平成 27 年度日本理科教育学会
北陸支部大会報告

■期日：平成 27 年 10 月 31 日(土)

■会場：金沢大学人間社会第 2 講義棟 (A 会場：208 講義室, B 会場：207 講義室)

■研究発表プログラム

A 会場(人間社会第 2 講義棟 208 講義室)

【9:15~10:30】

座長:土佐幸子(新潟大学)

A01 ESD の視点に立った学習指導による科学的な思考力の育成—教科のつながりを目指した授業実践を通して—

○兵地梓(金沢大学附属中学校), 松原道男(金沢大学)

A02 学級担任による理科授業, 理科専科による理科授業, それぞれの長所, 短所に関する学級担任, 理科専科教員の意識の違い

○林康成(信州大学大学院), 三崎 隆(信州大学)

A03 理科の授業づくりにおける教師同士や学生と教師との関わりに関する研究

○小林茉莉奈(信州大学教育学部), 三崎隆(信州大学)

A04 小学校第 3 学年理科における児童の質問分析その 1

○西沢真衣(信州大学教育学部), 三崎隆(信州大学)

A05 授業筆記や教案等で解明する明治科学教育の新実相と能動学習型への再構築

○小林昭三(新潟大学), 興治文子(新潟大学)

【10:45~12:00】

座長:稲田結美(上越教育大学)

A06 子どもの浮力に関する概念構造の調査研究—船の形と体積に関連づけて—

○田澤美麻梨(新潟大学), 土佐幸子(新潟大学)

A07 日本の理科授業の潜在的な特徴の解明—子どもの言葉の活用と思考負荷の関係に着目して—

○田中秀志(新潟大学), 土佐幸子(新潟大学)

A08 電磁気分野における生徒の概念理解を促す指導法の開発研究—五感を伴った手法に着目して—

○仲里和子(新潟大学大学院), 土佐幸子(新潟大学)

A09 理科授業力を向上させるための指標の開発—発問レベルと発話パターンに着目して—

○金子彩央理(新潟大学), 土佐幸子(新潟大学)

A10 海陸風への認識と内陸県・海あり県の居住, 体感の関係性

○榊原保志(信州大学), 山本美也(信州大学)

【13:15~14:30】

座長:小林和雄(福井大学)

A11 気象単元『水循環』におけるカードゲーム教材を用いた授業の実際

○大原央之(長野県泰阜村立泰阜中学校), 榊原保志(信州大学)

A12 小学生が夏休みの自由研究で理科を選んだ選択回数における科学リテラシー調査

○林康成(信州大学大学院), 三崎隆(信州大学)

A13 中学校理科における料理を題材とした授業開発

○須藤明日香(上越教育大学), 稲田結美(上越教育大学)

A14 日米小学校理科教科書における職業に関する記載の特徴

○金森理恵(上越教育大学), 稲田結美(上越教育大学)

A15 コア・サイエンス・ティーチャーを中心とした理科教育支援—福井県を例として—

○月僧秀弥(福井大学大学院・坂井市立三国中学校), 西沢徹(福井大学), 浅原雅浩(福井大学)

【14:45~16:00】

座長:渡會兼也(金沢大学附属高等学校)

A16 保幼小接続を視野に入れた保育所における科学教育

西出和彦(仁愛大学)

A17 生活科で養う「科学的な見方・考え方」の基礎

小林和雄(福井大学大学院)

A18 子どもが観察・実験を行う直前の話し合いの場ではどんな局面が必要かー第4 学年理科「閉じ込めた空気の性質」第3 学年理科「電気の通り道」よりー

澤柿教淳(富山大学人間発達科学研究科・滑川市立西部小学校)

A19 有権者教育のための理科知識・批判的思考力ー石巻市立大川小学校津波被災の原因ー

林衛(富山大学)

A20 安価な望遠鏡とデジタルカメラを使った月と太陽の撮影

原稔(富山国際大学)

B 会場(人間社会第2 講義棟 207 講義室)

【9:15~10:30】

座長 松山智明(石川県・余喜小学校)

B01 SNS を利用した異学校教員間での物理教材開発

渡會 兼也(金沢大学附属高等学校)

B02 電気教育は荒廃しているー電圧・抵抗・電流の規則性の重視ー

高野登久

B03 小学校理科における問題解決の能力の育成を目指した指導法の研究ー「探究の過程の8 の字型モデル」と「探究アイテム」を用いた授業実践を通してー

○浅倉健輔(上越教育大学大学院), 小林辰至(上越教育大学)

B04 理科におけるグラフ作成及び分析・解釈の能力育成に関するー考察

○古川俊輔(上越教育大学大学院), 小林辰至(上越教育大学)

B05 問題解決の能力を育成する理科指導法の開発ー探究の過程につながる事象提示の在り方ー

○玉木政彦(上越教育大学大学院), 小林辰至(上越教育大学)

【10:45~12:00】

座長:三崎 隆(信州大学)

B06 小学校中学年を対象とした仮説設定シート(2QS)の開発

○五十嵐敦志(上越教育大学大学院), 小林辰至(上越教育大学)

B07 理科野外学習の重要性ー環境意識および防災意識の育成の観点からー

松本一郎(島根大学)

B08 小学校理科単元「月と太陽」に時間・空間概念を取り入れた教材の開発(予報)

○尾崎亮太(島根大学), 松本一郎(島根大学), 佐藤毅彦(宇宙航空研究開発機構)

B09 Kinect を用いたARによる鏡像シミュレーション教材の活用

○大崎貢(上越市立城北中学校), 久保田善彦(宇都宮大学), 中野博幸(上越教育大学), 小松祐貴(上越市立春日中学校)

B10 天気図上の高気圧・低気圧での風の吹き方についてー理解を促すAR教材の開発ー

○田村領太(上越教育大学大学院), 桐生徹(上越教育大学), 中野博幸(上越教育大学), 小松祐貴(上越市立春日中学校), 久保田善彦(宇都宮大学)

【13:15~14:30】

座長:小林辰至(上越教育大学)

B11 中学校理科教育における「速さ概念」定着のための実践ー教育実習での授業プログラムの開発と評価ー

○井川悠司(福井大学), 青木遥(福井大学), 栗原一嘉(福井大学), 木下慶之(福井大学教育地域科学部附属中学校), 荒川誠(福井大学教育地域科学部附属中学校)

B12 吉野地区のホタル学習を核にした河川環境教育の展開2

○小鍛冶優(志比小学校), 中村祥子(吉野小学校), 川崎隆徳(福井県両生爬虫類研究会), 藤井豊(福井大学)

B13 子どもが問題解決の見通しをもつ学習過程の有効性の検討ー第6 学年理科「てこのしくみとはた

らき」の実践から～

○安田朋未（富山大学大学院），松本謙一（富山大学），鼎裕憲（富山大学人間発達科学部附属小学校）

B14 小3理科スタートとしての学習指導の在り方についての考察—小学校3年理科「ものづくり」に着眼して—

○堀田真紀（高岡市立川原小学校），松本謙一（富山大学）

B15 生活科2年間の栽培活動をどのようにデザインするか—第2学年「わたしのはたけの本づくり」の実践から—

○木村元威（富山大学），松本謙一（富山大学），高多利明（富山市立堀川小学校）

【14:45～16:00】

座長：兵地梓（金沢大学附属中学校）

B16 ESDに直結する映像教材活用についての一考察～第2学年 生活科「市電通りのたからを見つけよう」より～

○谷村麻里奈（富山大学），松本謙一（富山大学），高多利明（富山市立堀川小学校）

B17 自己決定を重視した単元展開と教師の支援～第1学年生活科「なかよし—あさがお・どうぶつ—」の実践から～

○岩崎志海（富山大学），松本謙一（富山大学），茂貴子（富山市立堀川小学校）

B18 栽培活動を「探究」にする～第三学年理科「植物を育てよう」の実践から～

○赤尾純平（富山大学大学院），松本謙一（富山大学），高多利明（富山市立堀川小学校）

B19 汎用的な「条件制御」能力を育む～第5学年理科「植物の発芽」の実践から～

○板本雄太（富山大学），松本謙一（富山大学），尾島良幸（舟橋村立舟橋小学校）

B20 第1学年1学期における生活科のカリキュラムデザインに関する一考察～「わたしのあさがお」 「学校探検」「なかまとあそぼう」の活動を自己選択した実践から～

○中野明美（富山大学大学院），松本謙一（富山大学），滝澤亨（富山市立堀川小学校）